

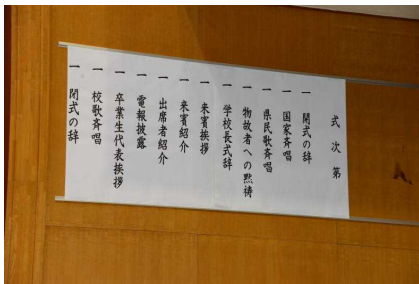
定時制閉課程について

本校定時制課程は、令和5年3月1日（水）に閉課程式が行われ、3月末日をもって閉課程となります。

今後の定時制に係るお問い合わせは、本校全日制事務室の方までお願いします。

粉河高等学校定時制課程 閉課程式

令和5年3月1日（水）午後1時30分より、令和4年度末をもって閉課程となる本校定時制の閉課程式が、体育館において厳かに執り行われました。当日は晴天に恵まれ、御多用の中、和歌山県教育委員会をはじめ御来賓の皆様、同窓生・旧職員の皆様、教職員合わせて60名近い方々に御臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。



式では、城 秀憲校長が「歴史に幕を閉じることは誠に残念だが、長きにわたり発展に努められた人々に心より感謝します。」と式辞を述べました。

最後に、卒業生代表挨拶として、令和4年度卒業生で生徒会長の宮野友弥さんが挨拶をし、「早朝働き、夕方から通学し、しんどいとき、くじけそうなきときもありましたが、仲間と切磋琢磨し、先生方が親身に寄り添ってくれたおかげで、卒業することができた。先輩たちが築き上げてきた、75年という長い歴史の中の最後の卒業生であり、最後の生徒会長として、挨拶させていただいた事を誇りに思います。」と惜別の言葉を締めくくりました。



式の後、玄関前にて、閉課程記念碑除幕式をおこない、閉課程式に出席された方々に、披露されました。

この記念碑には、校章と沿革、75年間の卒業生徒

数「1344名」の文字が刻まれています。

最後に、長きにわたり、本校定時制の発展に御尽力いただきました多くの方々に厚くお礼申し上げます。

